

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ガリレオ六甲道				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		ご利用者一人あたりに対する面積は国が定めている基準に対応できています。運動療育を行うに当たっても問題なく取り組めています。	引き続き、活動内容に応じ、安全に配慮しながら十分にスペースを確保していきます。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員を多めに配置し、手厚い支援ができるように取り組んでいます。平均的な配置で不足がある場合は、ダイミー等を活用して適切な配置数になるよう努めています。	引き続き、適切な人員配置を維持します。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	建物の構造上、玄関前の階段をバリアフリー化することが難しいため、階段を登れる方の利用が推奨されます。子どもに対して一日の流れなど見て分かるよう工夫しています。	危険を見逃さないよう、日々の整備や安全確保を怠らないようにしていきます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		職員が毎日掃除を行っています。	引き続き、清潔で快適な環境整備を行っていきます。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	建物の構造上、個別の部屋を用意することは難しいですが、パーテーション等を活用し、必要に応じて個別にされる空間づくりを工夫しています。	今後も継続していきます。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	中核時に目標の確認ができるようしています。また月一回の会議で必要に応じて振り返り、その内容がどの職員も確認できるようにしていきます。	今後もより多くの職員が参画できるように、また会議で決まった内容をより多くの職員が周知できるように体制を整えていきます。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様に配布し、調査を依頼し、実施しています。	今後も業務改善に努めていきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	意見があつた際は、その都度職員間で確認し、業務改善に繋げられるように話し合っています。	引き続き、業務改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	業務委託のアドバイザーに定期的に実地指導を行ってもらいつゝ、業務改善や療育スキルの向上に繋げています。	引き続き、業務改善に努めています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		パート職員には、後で動画で見てもらうなどして柔軟に対応しています。	今後も職員の資質向上を目指し研修機会を確保し、実践活用していきます。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		保護者様に対しては、時間計画を作成し周知できるようにしております。	今後も継続していきます。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		月に一度会議を行い取り組んでおります。	引き続き、個々のニーズに沿って計画を作成していきます。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	昼礼を活用し、共有理解ができる場を設けています。	より多くの職員が参画できるように、また会議で決まった内容をより多くの職員が周知できるように体制を整えていきます。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	昼礼を活用し、共有理解ができる場を設けています。	今後も継続していきます。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	インフォーマルなアセスメントを使用し、子どもの状況を把握できるようにしています。	心理士が常駐していないため標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントについては取り組んでいません。保護者様の協力を得て情報共有を行っていきます。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		本人中心の輪ができつつあります。	都度見直しを行いながら、より適切な内容の設定を行っていきます。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		子どもの特性を踏まえ、活動内容を精査し、チームで立案を行っております。	今後も、必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行っていきます。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		曜日ごとに大まかな療育内容は決まっていますが、様々な体験ができるように活動プログラムを考えております。	個のニーズと照らし合わせ、活動プログラムの内容について問題はないか、個別の支援の行い方について精査し、固定化しないようにしていきます。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		基本的に集団行動が主になってはおりますが、必要に応じて個別活動を組み合わせています。	今後も、必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行っていきます。		

	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		個々に職員間での打ち合わせを行っています。	今後は開始前のミーティングを行うことが出来るよう体制作りを行っていきます。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	送迎等の関係で事務所に戻ってくる時間がバラバラのため、個別に振り返りや相談を行っております。	個々では行っていますが形には出来ていないため、今後支援後の打ち合わせや振り返りが出来る体制作りをしていきます。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	連絡帳への記入は基本的に毎日行いその日の様子が分かるようにしています。防犯カメラ等で療育の様子を記録しているため、それを支援の検証や改善に繋げています。	ツールはあるので、それを使用、活用できるような仕組みづくりを行っていきます。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6か月ごとにモニタリングを行っています。	今後も継続して行っています。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		自立活動と日常生活の充実のための活動としたそれぞれの基本活動を組み合わせた支援プログラムを提供しています。	今後も継続して行っています。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		おやつの購入や自由遊び、長期休暇時の日中の過ごし方などでご利用者が自己選択出来る場を設けるようにしております。	今後も自己決定する力を育むための支援を継続していきます。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		参加出来る時は参加させていただいております。	今後も同内容の取り組みを継続していきます。また、全職員での共通理解を図つていけるように努めます。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じて関係機関と連携できる体制を整えています。	どの職員も関係機関との連携の方法などが把握できるように、今後努めてまいります。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	学校との情報共有を行っています。	今後もどこの学校との信頼関係が築くことができるよう努めてまいります。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5	就学前の情報は保護者様から伺っています。	今後保護者様と相談し必要に応じて取り組んでいきます。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5	利用者の年齢層が小学生中心のため、行っておりません。	今後必要が出てきた場合は取り組んでいきたいと思います。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	現在、地域の児童発達支援センターとの連携にはいたっておりません。	今後保護者様と相談しこどもの発達に応じて必要な場合は取り組んでいきます。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	現時点では、機会を設けておりません。	交流については、今後機会があれば取り組んでいきたいと思います。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	参加出来る時は積極的に参加させていただいております。	今後も参加していきたいと思います。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時、保護者面談の時などを活用して共通理解を持てるよう努めています。	今後も保護者様との情報共有を行い、信頼関係の構築に努めてまいります。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	現時点では行なっておりません。	今後検討していきます。
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時や法改正時に伝えております。	今後も継続して取り組んでまいります。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談時に保護者様からの意向を伺っております。	今後も継続して取り組んでまいります。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		面談時に支援内容の説明を行い、同意を得た上で支援を行っています。	今後も継続して取り組んでまいります。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて相談を受け、相談内容に合わせて助言と支援を行っております。	今後も継続して取り組んでまいります。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	ご家族参加の行事を実施し、保護者同士での交流の機会やきょうだい同士で交流する機会を設けております。	保護者会等の開催はまだ行えておりませんが、今後取り組めていければと思います。
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情に対する相談窓口、苦情解決責任者・担当者を配置するとともに苦情解決マニュアルを作成しており、迅速に対応する体制を整備しております。	今後も継続して取り組んでまいります。

	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	HPを活用し、活動概要や大まかな年間行事予定、療育内容などは発信しております。	日々の療育の様子に関しては、今後発信出来るように体制を整えていけたらと思います。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いには留意しております。	今後も継続して取り組んでまいります。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		こどもや保護者様との連携が取れるように、送迎時やLINE、電話等で情報伝達に努めています。	今後も継続して取り組んでまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	事業所の行事に関して現時点では、地域住民の方への招待は行っておりません。	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	各マニュアルにつきましては、策定しております。	より多くの職員、ご家族にも周知できるよう、どなたでも見ることができる場所に設置していきます。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	BCPの策定、定期的な避難訓練などを行っております。	今後も継続して取り組んでまいります。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に把握に努めております。	今後も継続して取り組んでまいります。
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約時に把握に努めております。	医師の指示書の提供をしてもらう等、保護者様にご協力していただきながら情報共有をしていきたいと思います。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全計画を作成し、安全管理が十分されたなかで支援を行っています。職員に対する研修も行っています。	今後も継続して取り組んでまいります。
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	安全計画は作成しておりますが、家族への周知がいききっていない場合がございます。	安全計画を作成しているので、いつでも開示できるようにしていきます。
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハットの記録を残し、事業所内での共有と再発防止に向けた方策について検討しております。	日々の昼礼で行っているが、それがヒヤリハットの共有か通常の情報共有か不明確な時があるため、明確化していきたいと思います。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		社内にて定期的に虐待防止の研修をおこなっております。	今後も事業所内で研修の振り返りを行い、継続した取り組みが出来るようにしてまいります。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束研修を行い、やむおえない場合につきましては、利用者に十分説明を行い、了承をえております。	保護者様に説明し、納得していただいた上で同意書を頂けるようにしていきたいと思います。